
君とおれとの最後の一ヶ月

沖荒 夢滝

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君とおれとの最後の一ヶ月

【Zコード】

N7477Z

【作者名】

沖荒 夢滝

【あらすじ】

初めての恋愛小説です。

天使との最後の一ヶ月の日記帳です

毎週土曜午後7時更新です

第1話 ハジマリ（前書き）

初めての恋愛ものです。
どうぞよろしくです

第1話 ハジマリ

ある日現れた俺の天使

だが、その天使には、俺との別れがある。
その天使の名は莢間美用。
さやま
みづき

今用いこはいで海外に行こてしまふ

たから、最後の一ヶ月ぐらい一緒にいてやりたい。そこで俺は愚いて

4月8日

「えっと、俺のクラスは……あつた！ 3組だな」
中三になつた俺、飛驒馬海斗はクラス分けの名簿を見て、自分が3組だというのが解つたので、美月の名前を探した。

聞きなれた声のほうを向くと、そこには美月がいた。

「おひ美用」一
井た一
諸だな

「ん！ せーたね！」

それを見ると、なんだかさびしく思えた。

「アーティストの毎日？」

キヨトーンとした表情で美月がこっちを見る

何でもないよ

教室

先生がつかつかとはいってきて、こう言つた
「担任の加藤弘司です、宜しく」

「担任の加藤弘司です、宜しく」

とだけ言つて、その後は3年の行事のことなどにひこつまらないな
話が続いて、その日の学校は終わつた。

「でさー、すゞかつたんだぜ?」

男子の何人かが俺のところで「さやさや」と話している。

「わかつたわかつた」

俺はそつけない返事を続けていた。

「よし、じゃあ帰るか」 その言葉が終わるか終わらないうちに・・・

「かーいと! 一緒にかえる!」

「あつ、ちよつ 美月〜〜」

この天使、結構KYOUである。

すると友達が気を使い(?)

「おおつと、俺たちはお邪魔かな?」

「じやなー海斗、こゆつくり」

俺の友達もKYOUであつた。(やれやれ)
ニヤニヤしながら帰つて行つた。

「つたぐ、あいつら・・・」

でも、美月がお構いなしに

「かえろ!」

と言つた。

「ふ〜、帰るか

帰り道・・・

「なあ美月」

「なあに? 海斗」

「おまえおれになんか隠してねえ？」

「・・・」

「隠してるんだな、それくらいはわかるわ」

「・・・うん」

「? なんだ? いつてみる!...」

「でも・・・」

「気になるから言えって!」

「・・・じゃあ言つね・・・私、来月アメリカに行く
な!...」

「どうある!? 海斗!」

第2話 ナクナヨ

それは突然のことだった。

残されたタイムマシンはあと23日
その中で、俺のできることとは一体！？

しばらく茫然としていると、美月が泣きだした。

「わたし、わたし、本当のことと言えなくて・・・海斗に言いたくな
くて・・・」
「ひぐつ・・・ひぐつ・・・ひぐつ・・・ひぐつ・」

なぜなんだ、いつもそばにいるのがなぜ美月なんだ？

俺と出会ってしまった、美月はいんなつらい田にあつてしまつ・・・
この情けない自分を呪つた。

でも、頭の中は美月でいっぱいです。

今はただ、俺が口にできた一言は、

「美月・・・」めんな・・・

だけだった。

美月は

「うぐつ・・・ひぐつ・・・海斗がなんであやまんの？」
泣きながら問い合わせてきた。

「そつそれは・・・」

「わたしは海斗と会えて幸せだよ・・・」

「美月・・・」

いつの間にか美月は泣きやみ、俺にこりと微笑みかけてきた。
なんだかとてもさみしい気持ちでいっぱいだった

「よーしわかつた！　これから23日間、俺がお前の一生の宝
になる23日にしてやる！　ついてきな！」

「うん！　海斗、かつここいね」

美月はうれしそうに微笑んだ。

こうして俺と美月との長く短い一ヶ月は始まった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7477z/>

君とおれとの最後の一ヶ月

2011年12月25日19時55分発行